

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	15112		
事務事業名	労働諸費一般経費			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	5	項	1
施策目標	競争力のある中小企業の育成						
後期計画掲載頁	64	頁	個別計画				頁
事業期間	平成		年	～	平成		年
根拠法令・要綱等							

事業の概要
 やる気と熱意を持った経営者、後継者育成のために技能功労者褒賞を授与

事業の目的
 大田市技能功労者褒賞要綱に基づく褒章を開催し、技能に従事された方の社会的地位の向上と、各業界の発展を目指す

事業内容
 技能功労者褒賞式典の開催
 ・技能功労者は、同じ職種に30年以上従事し、60歳以上で熟練を極める職人
 ・農業功労者は、60歳以上で10年以上従事し、農業振興に貢献された人
 ・優良建設工事は、優良工事に選定された建設会社と担当者の表彰

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	198千円	222千円	176千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	198千円	222千円	176千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	技能功労褒章対象者	12	4	4	10	40.0%	10
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）技能に従事された方の社会的地位の向上と、各業界の発展に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 広報誌等で周知に努めているものの、技能功労褒賞は、対象者の減少と未組織業種等での技能功労対象者の把握が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通
点数	2	2	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	様々な分野を対象に長期に渡り地域の発展や後継者の育成など貢献された方々に対する表彰であり、表彰該当者が減少している状況であるが、地域内での対象者の再確認等を行いながら、今後も継続していくことが必要である。				
	評価点合計	14	18			

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	商工労政 課	商業労政 係	事務事業No.	15114
事務事業名	雇用対策事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	項 目
施策目標	雇用の確保・創造と労働環境の充実				
後期計画掲載頁	56	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
雇用の開拓と勤労者の労働環境の充実及び人材確保

事業の目的
ハローワーク、大町職業安定協会等と連携し、求人開拓を始め、管内の雇用環境改善を図る。
また、新規学卒予定者、ＩＵターン就職希望者への地元就職機会の提供、事業主に対しての人材確保、地域内での雇用促進、定住に向けた対策を図る。
勤労者の福利厚生の上昇に努める。
社会保険や年金など雇用に関する課題に対する相談体制確立

事業内容
雇用の場の確保促進、企業説明会（就職面接会）の開催、
大町職業安定協会・大北高等職業訓練校・勤労者互助会・労働会館などの支援、
社会保険、年金相談窓口の開設
勤労者資金融資の斡旋補助

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,514 千円	2,499 千円	2,669 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,514 千円	2,499 千円	2,669 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 企業訪問件数	人	815	803	778	800	97.3%	800
②							
③							

成果指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 有効求人倍率推移（年平均）	%	1.06	1.34	1.47	1.00	147.0%	1.00
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
就職面接会等は、地域住民や学生等へ浸透させるため、継続した開催が必要。参加事業所も現在23社程であるので、より多くの事業者に参加いただけるよう取組む必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	低い	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	1	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	求人開拓は、管内の企業を訪問し、事業主との面談で情報収集や雇用確保、地域雇用の状況確認と雇用につなげる活動を行い、一定の役割を果たした。 新たに取組んだ就職面接会は、学卒者、ＩＵターン、高校生を対象に、ハローワーク、大町職業安定協会、大北地域5市町村の共催により開催し、地域での雇用、人材確保、若者、ＩＵターン者の定住等による人口対策等のため、今後も継続していく必要がある。 また、勤労者のための各種団体への支援は、労働者の生活の安定と地域経済活性化のためにも継続的な支援は必要である。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	15115
事務事業名	勤労者福祉事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	項
施策目標	雇用の確保・創造と労働環境の充実				
後期計画掲載頁	56	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 労働者の福利厚生向上・勤労者生活安定

事業の目的
 地域の勤労者に対し、職場で働く労働者の福利厚生と暮らしの支援を行ない、住みやすく働きやすい地域の構築を目指す。

事業内容
 大北勤労者互助会及び大町支部互助会事業の事務局運営
 大北労働者福祉協議会と大北勤労者互助会との情報の共有と互助会会員への情報提供
 勤労者への住宅資金融資の利子補給による生活安定への支援

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	104,502千円	104,426千円	104,268千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	100,000千円	100,000千円	100,000千円
		一般財源	4,502千円	4,426千円	4,268千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	勤労者住宅利子補給金件数	件	18	14	10	20	50.0%	20
	②	勤労者資金融資事業	件	25	16	21	25	84.0%	20

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）大北地区労働者福祉協議会による勤労者へのセミナー開催に募集等の連携をしており、セミナーの実施によって勤労者の生活向上につながっている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 勤労者を支援するため労働金庫と協力して取り組んでいる事業であることから、勤労者住宅利子補給金、勤労者資金融資事業ともに労働金庫からの融資を受けた方が対象となるため、他の金融機関等との競合する部分もあり、利用実績の少ないことも見られる。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続				
	評価点合計	17	18			

勤労者の福利厚生は、生活に活力と安心を与え、地域活性化に重要であり継続が必要である。

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	17114
事務事業名	中小企業支援事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	項
施策目標	競争力のある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 中小企業の経営安定や新規事業の支援のため、制度資金融資の斡旋と信用保証協会の保証料補給金支援
 商工会議所の支援による市内企業の育成支援
 地域商品券発行事業への支援

事業の目的
 企業の事業主などからの事業経営に関する様々な相談や課題に対し、経営指導を行い健全な経済環境整備の構成を目指す。
 事業経営に必要な資金融資を円滑に行えるよう資金を金融機関に預託し、低利な制度資金融資を行うことにより、市内企業の発展を目指す。中小企業振興条例に基づく事業実施に関して、補助申請により必要に応じて審議会において審議し、中小企業の創業支援や経営安定等を図る。

事業内容
 中小企業振興条例に基づく必要案件を審議するため中小企業振興審議会の開催
 県および市制度資金融資の斡旋および融資等の相談
 商工会議所による中小企業の事業活動の相談業務等への支援
 定住促進、地域経済の活性化につながる地域商品券発行事業への支援

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	428,561千円	428,576千円	429,620千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源	400,000千円	400,000千円	400,000千円
		一般財源	28,561千円	28,576千円	29,620千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	融資申込件数	件	75	65	73	80	91.3%	80
②	融資申込額	千円	585,960	467,290	411,166	585,000	70.3%	580,000
③	保証料補給金	千円	15,002	12,302	13,135	15,000	87.6%	15,000

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）大町商工会議所で市内企業の経営相談、商店街との調整、中心市街地活性化のための協議会での事業推進等、関係機関との調整により、市内の経済活性化が図られている。中小企業の資金需要に対応する融資制度の活用により、市内において事業の継続がされていると認識している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 制度資金融資の利用は、事業者の経営状況、各金融機関の独自の融資制度などもあることから、年によって利用件数に波がある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	大町商工会議所との連携により、商工業などの活性化施策の展開を促進して行くことは今後も必要である。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	ブランド振興係	事務事業No.	17115
事務事業名	ブランド振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 1
施策目標	競争力ある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64-65	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 大町市の地域ブランド力を向上するため、地域産業の育成と振興、おおまびょんを活用した情報発信、消費者視点による商品の開発支援、首都圏等における物産展への出展による市特産品の販売促進等

事業の目的
 他地域との差別化や優位性をしっかり見定め、当市のブランド力を高めることにより、当市のモノを買いたい、訪れたい、住みたい、と思う方を増やし、最終的に移住・定住人口の増加を目的とする。

- 事業内容**
- 各種物産展への出展
 - キャラクターの活用による大町市の認知度向上の取組み
 - 黒部ダムカレーPR事業
 - 信濃大町ブランド戦略の策定

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	13,342 千円	34,368 千円	15,239 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	13,342 千円	34,368 千円	15,239 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	物産展出展	回	15	21	21	15	140.0%	17
②	キャラクター出演	回	95	138	181	150	120.7%	180
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	認知度県内順位（19市中）		14	14	現時点は不明	13	—	13
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 （指標）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

信濃大町ブランド戦略において、水ブランドの活用の方針が示されたことは評価できるが、それが有効な取組となるかどうかは、今後の取り組み内容によって異なる。着実な実行に向け、市民や事業者への周知・浸透が課題となっている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	拡大	今後、信濃大町ブランド戦略に基づき着実なブランド戦略の推進を図るため、信濃大町ブランド戦略推進委員会においてブランド戦略の進捗管理を行っていく。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光 部	商工労政 課	商業労政 係	事務事業No.	17116
事務事業名	中心市街地多目的ホール管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	項 目
施策目標	賑わいと個性あふれる商業の展開				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	中心市街地多目的ホール管理業務委託
事業の目的	中心市街地多目的ホールの管理業務を委託し、市民等が利用しやすく効率的な施設運営を目指す
事業内容	中心市街地多目的ホール指定管理委託事務 施設の使用受付許可事務、使用料の收受事務及び公衆トイレ維持管理業務

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,736 千円	2,680 千円	2,835 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,736 千円	2,680 千円	2,835 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	施設利用数	件	268	252	206	260	79.2%	260
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

施設設備の老朽化に対応するため、維持補修計画を策定する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	多目的ホール指定管理については、施設の利便性からも大町商工会議所に継続して指定管理運営を委託し施設の有効利用により市街地の活性化につなげたい。				
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	17117		
事務事業名	中心市街地活性化事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1目1
施策目標	にぎわいと個性あふれる商業の展開						
後期計画掲載頁	90	頁	個別計画	中心市街地活性化基本計画（第3次計画）			頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
中心市街地の商店街の活性化、再生による市街地のにぎわい創出

事業の目的
中心市街地活性化基本計画の施策事業を実施し、ソフト事業を中心にした市街地に賑わいの創出を目指す

事業内容
基本計画の評価・検証
大町まちづくり協議会との連携によるまちなかドレスアップ事業や「荷ぐるま市」などイベントの開催
空き店舗活用事業による空き店舗解消、新規開業者への支援

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	12,371千円	9,729千円	15,371千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	12,371千円	9,729千円	15,371千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	のれん設置数	個	20	30	18	20	90.0%	20
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	ゆかたまつり・やまびこまつり参加者数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000
	②	信濃大町まつり参加者数	人	30,000	—	35,000	—	—	—
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
見直し後の中心市街地活性化基本計画に基づいた事業の実施は、担当課だけではなく、ハードの整備や施設に関する建設課、市民課等と連携した取り組みが必要。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	大町まちづくり協議会が中心となって、中心市街地活性化基本計画に基づく施策の実施に取り組んでいる。新計画策定により、継続してまちづくり施策に取り組んでいく必要がある。空き店舗活用事業により空き店舗が解消、有効利用されることにより、市街地の賑わい創出につながる。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	ブランド振興係	事務事業No.	171112
事務事業名	アンテナショップ運営事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 1
施策目標	競争力ある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64-65	頁	個別計画	信濃大町ブランド戦略	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 大町市の地域ブランド力の向上と。特産品等の販路拡大のため、アンテナショップを活用した都会での情報発信や特産品販売事業

事業の目的
 大町市の認知度向上と大町市特産品の販売促進

事業内容
 ・特産品販売、観光案内業務
 ・観光圏開催イベント等への出展
 ・販路拡大に向けた営業活動 等

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,280 千円	6,500 千円	6,750 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	5,280 千円	6,500 千円	6,750 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 売上金額	千円	7,446	7,928	8,654	10,000	86.5%	9,000
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 設置から6年が経過し、アンテナショップの目的のひとつである認知度向上については、立川市を中心に近隣市町村等においてに一定の成果が得られたと感じているが、現在は店舗における顧客の多くが近隣住民であり、集客数及び店舗売上金額が少ないことが課題となっている。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	普通	低い	低い	一部重複	低い	改善の余地あり
点数	2	1	1	2	1	2
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	やり方改善					
	評価点合計	平成29年度以降の運営について検討を進める。				
	9	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	事務事業No.	171122
事務事業名	繰越明許費中小企業支援事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 1
施策目標	競争力のある中小企業の育成				
後期計画掲載頁	64	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
市、商工会議所を中心に金融機関等との連携により、創業希望者、創業者の支援をおこなう。
プレミアム付き地域商品券発行事業

事業の目的
新規創業、起業による地域経済の活性化、空き店舗の解消、雇用の創出等を図る。
プレミアム付き商品券の発行により地域経済の活性化を図る。

事業内容
大田市創業支援協議会によるセミナーの開催、創業塾の開催、ホームページでの情報提供等をとおして、創業・起業希望者、創業者の支援
プレミアム付商品券の発行による地域経済の活性化への支援

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	千円	45,701 千円
	国庫支出金	千円	千円	45,701 千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	0 千円
	一般財源	千円	千円	0 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	創業セミナー参加者数	人/回		26	20	130.0%	40
②	商品券利用実績	千円		239,748	240,000	99.9%	0
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ）創業支援は、本年度開始したところであるので、今後、継続的に事業を実施し、創業塾等新たな事業にも積極的に取り組んでいく予定。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
創業支援事業については、単年度で結果を出すことは難しい部分もあり、創業希望者への継続した支援が必要。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	1	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 16 / 18	大町商工会議所や、関係機関との連携により、創業支援、商品券の発行など商工業などの活性化施策の展開を促進して行く。 創業支援事業については、継続した取り組みを行い、プレミアム付商品券発行事業については、国の交付金等の政策により対応していく。				